

資源・化学品



藤田 昌宏
資源・化学品
事業部門長

主要分野

- 資源・エネルギー
- 化学品・エレクトロニクス

組織名

- 資源・化学品総括部
- 資源・エネルギー プロジェクト管理部
- 資源第一本部
- 資源第二本部
- エネルギー本部
- 基礎化学品・エレクトロニクス本部
- ライフサイエンス本部

事業部門長メッセージ

目指す姿

優良な資源・エネルギーポートフォリオを構築し需要家への安定供給を果たし、中・下流ビジネスでは差別化されたサービス提供を行います。

目指す姿を実現する成長戦略

上流ビジネスでは、強みとなる能力の蓄積を図りながら、ビジネスの新陳代謝と投資実行済み案件の着実な収益化等を通じ、長期的視点で競争力が高くリスク分散の効いた優良なポートフォリオ構築を目指しています。中・下流ビジネスでは、これまで培ってきた顧客基盤・専門性・世界各地での事業会社経営に関する豊富な知識と経験を活かして一段高い機能を発揮し、付加価値の高い差別化された事業及びトレードを展開します。

Q BBBO2014について総括してください。

A 市況下落の影響等により資源上流権益で多額の減損損失を計上しました。

資源・エネルギー分野では、価格下落の影響を受け厳しい事業環境となりましたが、コスト削減等による競争力の向上に取り組みました。化学品・エレクトロニクス分野では、グローバル農薬事業の展開エリアを拡大し、肥料事業を含めた農業バリューチェーンの構築及び化粧品事業の拡大に取り組みました。

【2014年度の実績】

当期利益は、前年度比2,147億円減益の△1,910億円となりました。米国タイトオイル開発プロジェクト、ブラジル鉄鉱石事業、豪州石炭事業、米国シェールガス事業、北海油田事業において2,278億円の減損損失が発生しました。一方、マダガスカルのニッケル事業では完工条件に必要な90%操業を達成しています。化学品・エレクトロニクス分野は全般に堅調に推移しました。



米国コーブポイントLNG基地完成予想図 (Dominion Cove Point提供)

業績ハイライト

	2013年度	2014年度	2015年度予想
売上総利益	829	869	900
営業活動に係る損失	△114	△1,703	－
持分法による投資利益又は損失	369	△538	－
当期利益又は損失（親会社の所有者に帰属）	236	△1,910	260
基礎収益	432	△420	－
資産合計	17,481	16,827	－

(億円)

Q BBBO2017での施策について教えてください。

A 資源・エネルギー上流ビジネスでは、ポートフォリオの質の向上に取り組めます。

世界的な人口増加・新興国を中心とする経済成長に伴い、中長期的に資源・エネルギー需要は拡大していくと見ています。また、新興国におけるライフスタイルの変化を背景に質的・量的な食料の需要の拡大が見込まれていますが、地球温暖化による気候変動が世界の農業生産に影響を及ぼすことが懸念されており、農業生産性の向上が求められています。

資源・エネルギー上流ビジネスでは、新規投資は既存資産との入替を基本とし、BBBO2014に引き続きポートフォリオの質の向上に取り組めます。マダガスカルのアンバトピー ニッケルプロジェクトやチリのシエラゴルダ 銅・モリブデンプロジェクトの早期完工によるリスク・エクスポージャーの低減に努め、既存事業の継続的なコスト削減や収益力の改善を図ります。中・下流ビジネスでは、将来にわたり収益の柱とする事業として農業関連事業の収益基盤拡大を目指し、農薬販売グローバルネットワークの構築や、農業資材マルチサポート事業の拡大に注力します。また、米国でのLNGビジネスをはじめとしたエネルギートレード事業の強化や自動車向けEMS事業の基盤強化、中国でのフェノール事業をはじめとした石油化学品事業などに取り組めます。

Q 事業活動を通じたCSRの取り組みを聞かせてください。

A 「安定的な食糧供給と環境に優しい農業への貢献」をビジョンに掲げ、グローバル市場で農薬ビジネスを展開しています。

今日、新興国の経済成長・人口増加に伴い食糧需要が増大する中で、安定的で安全・安心な食糧の供給が世界的な課題になっています。こうした問題の解決に貢献すべく、環境負荷の低い最先端の農薬供給に加え、フェロモン技術を応用した商品や微生物農薬などの拡販に注力しています。特にフェロモン技術応用商品は、昆虫の性フェロモンを用いて害虫の交尾を阻害し繁殖を防止する方法で、益虫や土壌・水質に影響を与えない防除手段として評価されています。今後も、世界30カ国以上に張り巡らした農薬販売網を通じて、皆様の「食の未来」を守っていきます。



フェロモン技術応用商品の使用の様子

資源・化学品

主要分野の概況

資源・エネルギー分野

目指す姿

上流権益投資やトレードを通じ、鉱物資源及びエネルギーの安定供給に貢献します。

事業環境

足元では、中国をはじめとした新興国の経済成長の減速による資源価格の低迷が継続していますが、鉄・ベースメタル（銅・鉛・亜鉛）・レアメタル（ニッケル・コバルト）・貴金属（金・銀・プラチナ）などさまざまな鉱物資源及び石油・ガスが国内・海外の各種産業で幅広く使用されており、中長期的には、経済の持続成長とともに鉱物資源・エネルギーの需要は拡大することが見込まれています。

強みと戦略

資源上流ビジネスで当社が持つ強みは、保有する優良鉱山や権益、当社が100%を保有するボリビアのサンクリストバル銀・亜鉛・鉛鉱山での操業経験、グローバルな顧客やパートナーとの長期安定的な関係等があります。これらを活用し中長期的に大きな収益貢献が可能で耐久力、競争力を持つポートフォリオを構築していきます。

中・下流ビジネスでは、エネルギーマーケットでの知見、顧客・パートナーとの関係を活かし、米国コープポイントLNG

輸出プロジェクトをはじめとする既存プロジェクトの遂行を確実なものとし、新規取引にも果敢にチャレンジしていきます。

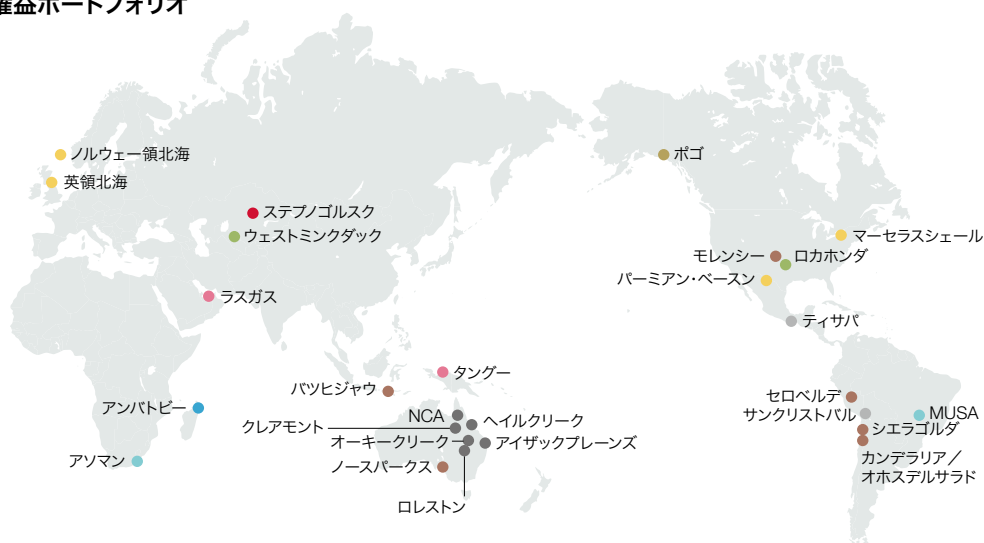
足元の取り組み

インドネシアのバツヒジャウ銅事業は、インドネシア政府が施行した新鉱業法の影響により輸出と生産を停止し、2014年度は大幅な減益となりましたが、2014年9月より輸出と生産を再開しており、2015年度は年間を通じて収益貢献する見込みです。豪州石炭事業では2013年度に基本合意していたクレアモントの買収が完了しました。ブラジルのMUSA鉄鉱石事業は、第1期拡張工事を終え、増産に向け準備を進める一方、第2期拡張事業の開始時期の判断は市況を慎重に見極めながら行います。原油・ガス事業では、コスモ石油（株）、昭和シェル石油（株）、東燃ゼネラル石油（株）とともに、それぞれの持つ国内LPガス元売り事業を統合しました。統合会社であるジクシス（株）は、LPガスの安定供給を使命とし国内トップクラスのLPガスネットワークを築いていきます。また、当社が参画する米国コープポイントLNGプロジェクトでは、米国産天然ガスを液化し、2017年から日本向けに輸出開始することを目指しています。サンクリストバル銀・亜鉛・鉛鉱山事業では、さらなるコスト削減、生産効率化に取り組み、バリューアップを図っています。

- P.56 アンバトビー ニッケルプロジェクト
- P.57 シェラゴルダ 銅・モリブデンプロジェクト

資源・エネルギー上流権益ポートフォリオ

- 銅
- 金
- 銀、亜鉛&鉛
- 鉄鉱石
- ニッケル
- レアアース
- 石炭
- ウラン
- 石油 & ガス
- LNG



化学品・エレクトロニクス分野

目指す姿

成長する産業分野に関して、差別化された高収益の期待できるサービスの提供・原材料の供給を行います。

事業環境

新興国の人口増加と経済発展に伴い食料需要が伸びていく中で、農作物の品質や収穫量を向上させる農薬・肥料の需要増加が見込まれます。また、基礎化学品、特に石油化学品分野ではビジネス環境が激変しており、対応が求められています。

強みと戦略

農業分野におけるグローバルな顧客ネットワーク、メーカー及びサプライヤーとの強固な関係を持ち、30カ国にわたる農薬販売網を築いています。農薬ビジネスに関する深い専門知識と幅広い提案力によって、業界に深く入り込んでいます。また、当社はスペインの大手石油化学会社CEPSA Química S.A. (セブサキミカ)と約25年間の取引関係があり、セブサキミカが中国で展開する石油化学品製造事業に参画します。

足元の取り組み

当社は2015年5月、ブラジル最大の穀倉地帯マットグロッソ州において農薬・種子・肥料などの農業生産資材や畜産業向け資材の問屋であるAgro Amazonia Produtos Agropecuarios S.A. に65%出資しました。また、当社はセブサキミカが出資するCEPSA Química China S.A. に25%出資しました。今後、自動車部品や電機部品のプラスチック原料であるフェノール・アセトン等を製造・販売していきます。



中国セブサキミカジャンハイ フェノールプラント

プロジェクト紹介

グローバルに機能を発揮する 化粧品素材事業への取り組み



ブラジルのコスメテック製処方サンプル

2010年、当社は米国の化粧品素材フォーミュレーターであるPresperse Corporation(プレスパース)の完全子会社化を機に、化粧品素材関連事業に本格的に参入しました。フォーミュレーターとは、化粧品素材の配合ノウハウを持ち、化粧品メーカーに対し、これら素材の販促ツールとして、処方の開発や提案を行い、化粧品素材を提供する専門企業です。プレスパースは、エスティローダー、ロレアル、エイボン、P&G等の大手化粧品メーカーを主要顧客とし、約300社の化粧品メーカーとの取引実績を有しています。

スキンケアやヘアケアなどを含む世界の化粧品市場規模は約4,600億米ドル(小売ベース、2014年)で、今後年率3~4%の成長が見込まれる有望な市場です。世界第1位の米国にブラジル、日本と続き、欧州や中国も重要な市場です。特にブラジル市場は、2016年には米国を抜くと見込まれています。

これら世界の主要市場における販売網を構築すべく、当社は2013年にブラジルのCosmotec International Especialidades Cosméticas Ltda.(コスメテック)への資本参加を行い、フォーミュレーター事業に進出しました。さらに2015年には協和発酵ヨーロッパからドイツを中心とする欧州、及びその近隣諸国で展開する化粧品素材販売事業を譲り受け、欧州市場への参入を果たしました。日本や中国での既存の素材ビジネスと併せて主要市場をカバーします。将来的には東南アジア、ロシア等も視野に入れ世界展開を進めていきます。

資源・化学品

資源・エネルギー分野

大規模開発事業の進捗状況



マダガスカル アンバトビー ニッケルプラント

アンバトビー ニッケルプロジェクト

マダガスカル

早期の安定稼働と収益性の向上を目指します。

ニッケルを原料とするステンレスは建築、家電から自動車、産業機器に至るまで幅広い用途があり、世界的に需要が増加傾向にあります。このような需要増加を背景に、2005年、当社はマダガスカルでニッケル生産から製錬までを一貫して手掛けるプロジェクトに参画しました。フル生産時のニッケル生産量は年間平均6万トンであり、世界最大級のプロジェクトです。

2014年1月に商業生産を開始し、2015年3月にはプロジェクトファイナンス上の完工条件のうち、最も重要な条件の一つである、連続する100日間のうち90日間で平均90%操業を達成するという生産テストをクリアしました。これまでプロジェクトの立ち上げを最優先に人材等も含めて経営資源を

投入しており、現在はフル生産・安定稼働期に向けて新たな課題に現場と一体となって取り組んでいます。

【プロジェクト概要】

総事業費：	72億米ドル
年間平均生産量： (フル生産時)	ニッケル6万トン、コバルト0.6万トン
権益比率：	Sheritt International Corporation 40%、 当社 27.5%、Korea Resources Corporation 27.5%、SNC-Lavalin Group Inc. 5%
当社参画年：	2005年
当社エクスポージャー：	約27億米ドル (完工保証を含む。2015年5月現在)



シェラゴルダ 銅・モリブデンプロジェクト

チリ

2015年内のフル生産達成に向けて取り組んでいます。

当社は、チリで銅精鉱・モリブデン精鉱を生産するプロジェクトをパートナーとともに推進しています。本プロジェクトは近隣に幹線道路、鉄道、港湾といったインフラが整っているうえ、標高1,700mとチリの鉱山としては低い位置にあるなど、有利な条件に恵まれています。

プラント建設においては、資機材や人件費の高騰により当初想定よりコストが増大したものの、2014年に生産を開始し、現在は2015年内のフル生産達成に向けて取り組んでいます。

2016年内の拡張プロジェクトの建設開始を目指して、今後詳細な調査を行っていきます。

【プロジェクト概要】

開発投資額：	42億米ドル
年間平均生産量：	銅精鉱73万トン、 モリブデン精鉱2.2万トン
権益比率：	KGHM Polska Miedź S.A. 55%、 住友金属鉱山(株) 31.5%、当社13.5%
当社参画年：	2011年
当社エクスポージャー：	約10億米ドル (完工保証約3億米ドルを含む。 2015年5月現在)